

祝 令和元年度 秋葉区成人式

「新成人の皆さん！おめでとうございます。」



去る5月3日(金・祝)午後2時より五月晴れの空の下、新元号に変わり初めたる成人式が、全国の先陣を切って秋葉区総合体育館において執り行われました。

今年の新成人は、平成10年4月2日〜平成11年4月1までに生まれた人で、秋葉区全体では男性352人、女性357人、合計709人。うち小須戸・矢代田地区では男性45人、女性53人、合計98人が対象でした。

当日は、色とりどりの振袖やスーツに身を固めた新成人418人と、我が子の成長した姿をこの目に焼き付けようと駆けつけたご両親・ご家族の皆さん75人と合わせて、493人の方々が式に参加されました。

こすど地区公民館報

発行 小須戸地区公民館
〒956-0101
新潟市秋葉区小須戸120番地5
TEL (0250) 25-5715
FAX (0250) 38-5210
E-mail kosudo.co@city.niigata.lg.jp
編集 公民館報編集委員会

新成人へのアンケート

小須戸地区公民館では、小須戸・矢代田地区の新成人の皆さんに向けて、それぞれの今の気持ちや心境について、アンケート形式で生の声を集めてきました。その一部を下記のとおり紹介します。

- Q1：成人を迎えた今の気持ちを教えてください。**
- ・自分の母親のおかげで、ここまで大きく育つことが出来たと改めて実感しました。(藤野満樹さん)
 - ・とても嬉しいです。(小見雄輔さん・丸山和己さん)
 - ・まだ実感が湧きません。(青木秀代さん)
- Q2：ふるさと(秋葉区)への思いを伝えてください。**
- ・いつでも私が帰ってこれる場所であってください。(内宮朝加さん)
 - ・この秋葉区の居心地が良くてずっとここにいたい。(藤野満樹さん)
- Q3：二十歳の決意を表明してください。**
- ・自立していこうと思います。(青木秀代さん)
 - ・百歳まで生きます！(丸山和己さん)
 - ・自衛官として国の平和を護っていきます。(藤野満樹さん)
 - ・がんばって生きていきます。(江川莉穂さん)
- Q4：将来の夢を教えてください。**
- ・板前になり、夢が叶っています。(栗林定時さん)
 - ・まだ未定です。(青木秀代さん・江川莉穂さん)

平成から令和へ、新しい歴史を刻みゆく、胸の中を夢や希望で満たした新成人のこれからの活躍に期待しましょう！

はじめての押し花教室(全2回)

REIWA

身近な草や花は角度を変えて見つめると、とても表情豊かな事に驚かされます。押し花の世界を通して、身近な草や花に触れ、ココロ休まるひとときを一緒に過ごしてみませんか？

会場：小須戸まちづくりセンター調理室
対象：成人20名(先着)
講師：押し花インストラクター 阿部 静枝さん・石黒 雪子さん
参加費：2,000円(材料費・お茶代として)
持ち物：草や花(なるべく厚みのないもの)

回	日時	時間	内容
1	7月2日(火曜日)	午前9時30分～正午	・押し花のしかたの説明 ・お花を押す ・講師作品紹介 ・押し花入りポストカードの作成
2	7月9日(火曜日)	午前9時30分～正午	・前回押したお花を使って ・ミニフレーム作品を作る

申込み：小須戸地区公民館 ☎0250-25-5715
申込み期間：6月17日(月)～6月28日(金)

式典では、夏目久義秋葉区長より「今日は未成年だった皆さんが二十歳となり、一人の大人になったことを自覚する姿を祝い、励ます日です。皆さんがこの会場に向かうときも、近隣の方や街ゆく人々がお祝いの言葉を掛け、笑顔で見守り、送り出してくれたことと思います。ご両親や周りの人々が慈しみの心を持って育んでくれたこそ、今日ここにいます。どんな形・言葉でも構いません。あなたの大切な人に感謝の気持ちを表して欲しいと思います。」との式辞がありました。

最後に「新成人の言葉」として、新成人代表の平岩玲奈さんより「二十歳になるという事は、一人の大人として責任が生まれることとなります。未成年だからと許されていたことが許されなくなるにより、戸惑いや不安に苦しむことがあるでしょう。皆さん、自立を焦り、周りを頼ることを忘れていませんか？周りを頼らないこと自立することは違うはずですが、ふるさとは、たくさん仲間や先輩がいます。(悩み苦しむ時には)人と関わり合い助け合うことで、乗り越えていきたいと思います。」との決意が述べられました。式が終わった後も、久しぶりに会う旧友との再会に、思い出話や、近況を語り合う姿が見受けられ、会場は大いに盛り上がりつつありました。

♪雅楽奏(うたよし)会 サークル会員募集♪
子ども おとなも みんなで一緒に
うれしい筍 たのしい筍
をさあ始めよう！

お筍サークル

- ・未経験者、初心者の方大歓迎！
- ・楽器の貸し出しをしています♪
- ・会費無料(楽譜代等、諸経費は掛かります)

場所：小須戸まちづくりセンター
日時：第1土曜・第3土曜 9:00~12:00
講師：佐藤雅楽奏さん
電話：025-231-6289

矢代田小学校6年生(現小須戸中学校1年生)が、授業の一環で、小学校卒業記念に俳句づくりに取り組みました。当時の担任の佐藤環先生からは、「卒業を間近に控えた最中に、今まで毎日通学をともにしたランドセルなどの道具への感謝や、児童目線での通学風景を描写した素晴らしい作品が出来上がり、とても感動し、小学校生活最後の良い思い出となりました。」との講評をいただきました。

児童同士で良い句を選び合い、厳選した句を次のとおり掲載します。

ランドセル 色とりどりで 虹みたい
私達 桜のように 咲き誇る
ついにきた 田んぼを通る 自分たち
春休み 木々も自分も 準備かな
花吹雪 あたり一面 桃色に
桜咲き 新たな一歩を ふみ出そう
ありがとう 思い出つまった ランドセル

伊藤 美結
鈴木 奈那
目黒 瑠唯
渡部 宇宙
榎本 有希子
星田 麗菜
島田 妃菜

「継続は力なり」
吉田 国宏さん (小須戸)

以前作家の渡辺淳一氏が障がい者の能力に触れたエッセイを読んだ。それは両手が使えない障がい者が器用に両足を使っている。幾つかはその技術を獲得したのだらう。

人間努力を継続すれば、難しいこともそれなりに可能となるのではないかと述べている。全く同感である。

私も若い頃は色々なことをやってきた。幾つかは下手なりに継続した。

ことで、ある程度のレベルまで行ったと思っいるが、気付くと皆止めてしまっている。実に勿体無い事である。

これを肝に銘じ今は、自分の生活の中で何事も常に「継続」することを念頭に入れている。

さらに努力を加えれば高い水準まで事を持っていきけるのだらうが、これがまた難しいことなのだらう。



令和元年度 小須戸地区公民館

今年もやります！ 男の料理教室 Part 5

★2回連続講座です★

今年アジを使った料理に挑戦！

★第1回目
7月19日(金)



- アジの揚げ物
- さゆりりとみよがの和え物
- アジのすりなごし汁

★第2回目
7月26日(金)



- アジのなめろう
- 冷しゃぶの梅ドレ和え
- 夏野菜の具沢山汁

◆会場：小須戸まちづくりセンター
 ◆時間：午前10時～午後1時30分
 ◆対象：成人男性
 ◆定員：12人(先着順)
 ◆参加費：2,000円(2回分)
 ◆講師：吉田 奈美さん(新潟調理師専門学校副校長)
 ◆持ち物：エプロン、三角巾
 ◆募集期間：令和元年6月17日(月)～7月12日(金)

お問い合わせ お申込み先
 小須戸地区公民館
 〒956-0101 新潟市秋葉区小須戸120番地5
 ☎0250-25-5715 ※お電話でお申込みください。

小須戸文化協会のさらなる発展を目指して

小須戸文化協会総会が開かれました。



去る4月25日(木)午後6時より矢代田駅前「山勢」において「平成31年度 小須戸文化協会総会」が開催され、加盟の33団体、43名が出席し、平成30年度の事業報告及び収支決算報告、令和元年度予算及び役員体制・規約の一部改正について審議が行われ、すべて承認されました。文化協会の令和元年度事業計画としては、主に4点

- ①文化祭事業として10月26日・27日(土)に「第45回小須戸地区市民展」を、また、11月10日(日)に「第35回芸術祭を公民館と共催します。年間展示として2か月にわたる「小須戸まちづくりセンター」展」を開催します。
 - ②文化協会の活動内容の周知のために「文化協会だより19号」(通算33号)を発行します。
 - ③文化振興に必要とする事業として11月23日(土)「第13回秋葉区美術展」を公民館と新津美術協会と一緒に共催します。
- 今年度の小須戸文化協会は、文化部20団体、芸能部13団体、合わせて33団体382名で活動しています。
- 今後、生涯学習の成果を一年に一度発表する「市民展」や「芸術祭」をはじめ、小須戸まちづくりセンターを拠点として公民館と連携し、また、「コミュニティ協議会」の協力体制のもと、地域の多彩な学習活動の発展に努めてまいります。



「文芸あきは」第13号 作品大募集

・募集作品 一般の部・青春の部(中高生対象)ともに随筆、小説(戯曲、童話を含む)、詩、漢詩短歌、俳句、川柳の7部門で1人につき各部門1作品(2部門まで応募可)

・応募資格 秋葉区に在住・在勤・在学・出身の方又は秋葉区内で活動中の団体に所属の方

・投稿料 投稿者1人につき1,500円(中高生無料)

※投稿された方には、作品を収録した「文芸あきは」第13号を贈呈します。(中高生には在学する学校に贈呈)

・応募方法 応募票に必要事項を記入のうえ、投稿料を添え、直接ご持参ください。郵送の場合は、投稿料を専用振込用紙で納入後、応募票と作品をお送りください。(振込手数料投稿者負担)

・応募締切 令和元年7月31日(水)必着

・応募先 〒956-0816 新潟市秋葉区新津東町2-5-6 新津地域学園内 新潟文芸協会事務局 ☎0250-22-9666 新津地区公民館

・主催 新潟文芸協会

※応募票は小須戸地区公民館、新津地区公民館、新津地区市民会館、秋葉区役所等にありますが、詳細は、新潟文芸協会事務局(新津地区公民館)までお問い合わせください。

俳句・川柳・短歌募集

題材は自由(お一人一句または一首)。住所・氏名(ペンネーム可)、電話番号を明記し、6月20日(木)までに小須戸地区公民館へ。

短歌	川柳	俳句
ふと見れば眼鏡をかけてペンを持つ 次女も還暦なりしと云ひり 日差しは春は近くに來てるらし 咲いた桜が風にまい散る 眠られず交しきメール読み返す 思いやる嘘少しはありて 母の日に若き母より花束届き われ一人祝酒 キビタキのさえざりを聞き新緑の 山道歩き令和の始めに 紅牡丹大輪咲いて零れ次ぐ 花びら散りて絨毯のよう	春が来たかわいい孫も六年生 聞く耳はあれど遺影は物いわず まあきれいな突然言われ汗を拭き 誉め過ぎにマイクも照れる吊辞文 古い同昔話で照れ笑い 馴れながら頼寄せ唄う夢を見る 馴れながら頼寄せ唄う夢を見る	春満月平成最後の大舞台 亀鳴くや令和元年夜明け前 日章旗はためき続き聖五月 聖五月昭和も遠くなりにつけり 早朝の地をかすめ行く初つばめ お帰りと二羽の燕に声かける 水輪かく大河の流れ糸柳 すみれ咲き我をひきよす村の道 咲きて散る野ばたんあの世この世かな 再会を誓ふ友垣春残し
吉田まつえ 久保みね子 本多サダ子 こみけ 玲泉	高橋キヨ 渡辺信子 奉和 浄栄 会田修 増井都留 能登としお 保科志枝	吉田松子 佐久間久子 丸山紀子 熊倉ひろむ 本多玲子 吉澤文子 間野えり子 馬場綾子 中野太浪 風間幸子

Nゲージ鉄道模型走行会開催！ ～町屋ギャラリー薩摩屋～

毎年好評の「Nゲージ鉄道模型走行会」を、今年も開催します。話題のトランスイート四季島やスーパーあずさ、山手線新型車両235系など、人気の車両が薩摩屋を走り回ります。今年もお楽しみの鉄道模型の運転体験もできます！入場無料。駐車場は第四銀行小須戸支店・小須戸郵便局・まちづくりセンターをご利用ください。

◆期間：6月29日(土)、30日(日)、7月6日(土)、7日(日)
 ◆時間：午前10時30分～午後4時まで
 ◆会場：町屋ギャラリー薩摩屋(新潟市秋葉区小須戸3394)



今年で10回目！地域と学校合同美化活動 『ふれあい花いっぱい運動』

5月14日、コミ協環境部、小須戸中学校1年生、矢代田小学校3年生、小須戸幼稚園と矢代田保育園の年長組の総勢約200名が参加し、矢代田駅周辺の美化活動が行われました。中学生と小学生は学校から集合場所である舟戸公園までゴミを拾いながら歩いてきてくれました。矢代田駅では、参加者がそれぞれ世代の違う方と協力し合って、花壇やプランターに赤や白、ピンク色のペゴニア約1,000株を植え付けました。JR新津駅長も活動に参加してくれ、地域の玄関口である矢代田駅が花でいっぱいになりました。今後の花の管理はコミ協環境部が行う予定です。駅をご利用の際にはぜひご覧ください。



文芸欄

小須戸コミュニティ協議会

山の手コミュニティ協議会